



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1998～99年度 会長賞



国際ロータリークラブ会長 ジェームスL.レイシー

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基盤として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊敬されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

第522回 平成10年9月16日（水）

〔本日のプログラム〕

<p>1. 点 鐘</p> <p>2. ロータリーソング 「奉仕の理想」</p> <p>3. 会長の時 間</p> <p>4. 幹事報 告</p> <p>5. 委員会報 告</p> <p>6. 点 鐘</p> <p>参 観 月 会 参</p>	<p>次 回 予 告</p> <p>★9月18日（金） 休 会</p> <p>★9月25日（金） クラブフォーラム 全員出席</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日（12:30～13:30）	会 長	加藤 仙之
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	福井 輝文
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17 ☎880-0212	幹 事	吉田康一郎
		会 計	恒吉 正志

☎&FAX0985-73-7170

第 5 2 1 回例会記録 (1998. 9. 11)

☆会長の時間

会長 加藤 仙之君

今晚は、第521回の夜間例会です。9月に入りますとさすがに朝夕の日差しは何となく秋を思わせる様な柔らかさを感じますが、日中はまだまだ残暑が厳しいようであります。私の骨折した鎖骨もなんとか繋がったようでして、2ヶ月半もゴルフをやっていませんので、いま見る夢は、「ロータリーの夢を追い続けよう」ではありません、毎晩ゴルフ場の芝の上をゴルフボールを追いかけています、早くゴルフがやりたい一心でしょうか、昨日一ツ瀬の河川敷ゴルフ場へ行きましたが、やはり60日振りのゴルフは不調でありましたが15日の三町のロータリーゴルフコンペには参加出来そうです。

先週の例会で、吉田幹事からお話がありました宮崎県サミット誘致推進協議会の入会の件であります。さっそく宮崎県サミット誘致推進協議会の塩見会長さんから入会のお礼が参っております、サミット誘致の資料等も同封されていますので回覧いたします。

サミット誘致へのとりくみでは、宮崎は、世界最高水準の国際コンベンションリゾートの確立を目指し、西暦2000年に日本で開催が予定さ

れていますサミット（主要国首脳会議）の誘致に、一昨年7月に全国第一号で名乗りを挙げて以来、積極的な取り組みを行って来たとの事があります。皆さんの、ご協力をお願い致します。

ケナフの話題を、9月8日の宮日新聞にこんな記事が載っていました。木材に代わる紙の原料として期待されている植物・ケナフの花が、今年も宮崎大付属小で咲き始めた。淡黄色の花で児童達が観察を続けている。

ケナフはアオイ科の植物で成長が早く、高さが三メートルになるとありますが、我が家のケナフもいま二メートル半程に成長しまだ花芽もついています。きっと花が咲くことを期待しております、花が咲きましたらご案内いたしますのでぜひご来駕をお待ちいたします。ケナフは、発芽しやすく、育て安い植物のようでもありますから、種子が取れましたら、来年皆さん方の庭の片隅でも植えていただき、収穫後はお孫さんや親子で、手製のハガキを作ってみてはいかがでしょうか。

ガバナ公式訪問が、1ヶ月後にせまりました。よやく公式報告書がまとまりましたが、完全なものとはいえませんが、印刷に回す前にもう一度見直しを（更正）しなければいけないとおもっています。この報告書を早くお届けして、各委員長さん方には自分の持ち場について熟知していただき当日は（10月9日）、全員の出席をお願い致します。

☆幹事報告

幹事 吉田 康一郎 君

例会変更通知

1. 9月16日(水)「観月会」の為
時間 18:30に変更

小林 RC

例会休会通知

1. 9月23日(水)「秋分の日」の
為休会

小林 RC

事務所移転の案内(再案内)

新事務所住所及び電話・FAX番号

〒886-0008

小林市本町3番地 (株)美賞堂内

小林ロータリークラブ

TEL 0984-23-5225

FAX 0984-23-5225

☆出席報告

委員長 宮原 建樹 君

会 員 数	25名
H C 出席者数	19名
欠 席 者 数	6名
出 席 率	76%
メークアップ者数	2名
修正出席率	84%
欠 席 者 名	神詩、福丸、高、林

☆増強委員会

委員長 藤 堂 孝 一 君

日時 平成10年8月23日(日) 12:00~15:00

場所 コテージヒムカ(シーガイアグループ)

地区クラブ奉仕・会員増強委員会の合同研修会に、正岡会員と私で参加しました。研修会は宮崎地区47名の参加で開催され、グループ研修の形で実施されました。各10名程度の人数で6班のグループにて意見を交換した次第です。最初に岩下PGより会員増強の現状報告がされたのですが、1998年6月現在の会員数が世界では昨年度と比較して12,153人の減少が生じているとのこと、日本では65名の減少とのことで、2730地区においては335人の入会者に対して退会者が397人で差し引き62名の減とのこと。

クラブ数は増しているのに会員数は減少している。このことは退会者の防止につとめなくてはならないとの事でこの事について協議を実施した。

各クラブの問題点、その他活動報告等々、いろいろな意見がでました。その中で、当佐土原クラブの実施してきた今までの事、夜間例会の実施、奥様の誕生祝い等、他のクラブも実施しているようです。今回の研修で会員増強の重要性が理解されたところです。

会員皆様の協力を再度お願いします。



9月のハッピーボイス

今年で45回目を祝っていただき、有り難うございます。

藤 堂 孝 一

☆卓話 田村勝二君

会員増強委員会の藤堂委員長からの突然のご指名で、些かあわてておりますが、ネービーロータリアン（旧海軍歴を有するロータリアン）の堅い絆について、参考までにお話をしてみたいと思います。

そもそも、この話は、『ロータリーの友』JULY 1997号に始まります。

同誌の“友愛の広場”（P⑨）に『私の生き残り「四原則」』と題した、旧海軍甲種飛行予科練習生第三期生であられた大西貞明氏（京都東RC）の投稿が掲載されており、米国グラマン戦闘機との空中戦で4回海上に墜落しながら、その都度死線を越えて来られた尊い経験に基づいた、人生を生き抜く四つの指針が記されていました。

私は、それを読んで大変触発されましたところ、もう一人、『ロータリーの友』JAN 1998号“友愛の広場”（P⑩）に、中谷 登君（葉山RC）の『ネービーロータリアン』と題した投稿がありました。彼とは、太平洋戦争末期に同じ宝塚海軍航空隊に所属し、生きるも一緒、死ぬも一緒の同期の桜でした。

たまたま、私の長男が神奈川に住んでいますので、上京の折りに中谷君に連絡したところ、逗子で会おうということになり、久し振りに再会することができました。立ち話もとのことで、彼の馴染みの店に行くことになりました。その店のご主人は、かつて私どもの宝塚海軍航空隊の班長でした。そこでの彼の話では、全国には旧海軍甲種飛行予科練習生（甲飛）の経歴を持つロータリアンが結構いるのではないかと、一度会合してみたいも

のだとの意向が強くて、この度、旧海軍甲飛のロータリアン全員京都に集合と相成った次第です。出席者の全国甲飛会長大西貞明氏、太平洋戦争開戦間もなくマレー沖で英国極東艦隊旗艦プリンスオブウェルズを一式陸攻で撃沈して、いまだに、沈めて良かったか、悪かったかと悩んでいるとの田中喜作氏（金沢RC）をはじめ、40数名の“大空のさむらい”に出会うことができました。懇談を通じて、彼等には甲飛仲間の連帯感の他に、ロータリアンとして社会奉仕へのしっかりした観念を持っていることが感じられ、大変感銘しました。

私どもも毎年、宮崎海軍航空隊跡地で戦没者の慰霊祭を執り行なっています。

今年も4月5日に15回目の慰霊祭を行いました。海軍赤江飛行場からも、菊水銀河隊をはじめ陸海軍合わせて744名が出撃・戦死しておられます。

大西貞明氏は、真珠湾から沖縄までの航空戦で、甲飛を巣立つた若者7千余名が国のため散華した事実を、今の若者に1人でも2人でも伝えることが最大の慰霊になると信じていると言っておられました。

『ロータリーの友』の“友愛の広場”のお陰で、全国的なネービーロータリアンの集いにまで発展できたことを心から感謝しています。

生死を共に誓った甲飛の仲間が、各地でロータリアンとしても活動していることを知り、私も頑張らなければいけないと自分を励ましているところです。